

情報公開文面

臨床情報と MRI、ドパミントランスポーターSPECT を、研究に提供させていただくのにあたっての情報の公開について

対象研究名：「ドパミントランスポーターSPECT と MRI を用いた多系統萎縮症の病態解明」

対象者の選択基準

京都大学医学部附属病院脳神経内科に 2014 年 2 月 1 日から 2016 年 2 月 5 日の間に受診された方の中で、多系統萎縮症と診断された方。

京都大学医学部附属病院脳神経内科において、1979 年 1 月 1 日から 2015 年 9 月 30 日までに病理解剖を施行させていただいた方の中で、多系統萎縮症と診断されていた方。また、疾患対照として、変性疾患、脳血管障害など多系統萎縮症以外の診断をされた方。

研究目的・方法の概要

多系統萎縮症は脳の様々な場所で細胞が障害を受けることにより生じます。その結果、ふるえや体のふらつきといった運動症状、便秘・立ちくらみといった自律神経症状など多様な症状がみられます。この病気がどのようにしてこういった様々な細胞に進展していくか、現時点で明らかになっていません。そこで、京都大学医学部附属病院脳神経内科は、画像検査と病理組織の解析によって、この病気の空間的な拡がり方を検討することにしました。

具体的には、京都大学医学部附属病院附属病院に 2014 年 2 月 1 日以降受診された患者さんのなかで、多系統萎縮症と診断された患者さんを対象とします。患者さんの診療録（カルテ）を元に MRI、ドパミントランスポーターSPECT 検査の結果を解析して、病態を調べたいと考えています。また、京都大学医学部附属病院脳神経内科で病理解剖を施行させていただいた方の中で、上記選択基準に該当する方の脳と生前の画像検査を利用させていただきたいと考えています。

個人情報の取り扱いに関して

患者さんの診療情報は仮名化します。研究成果を学会や論文で発表する際にも、完全に仮名化します。仮名化を条件に、研究期間終了後もデータを保存し、学術研究に活用します。

本研究に関して、お問い合わせいただくための手段について

本研究に関して、問い合わせが可能なように、本研究の内容、実施者、問い合わせ先について京都大学神経内科ホームページ内に掲載いたします。

研究や個人情報に関する問い合わせや、研究への利用停止、研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧を求められた場合には、研究対象者でいらっしゃることを確認させていただいた上で、他の研究対象者の方の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内に限り、速やかに対応いたします。

研究機関名・責任者

京都大学医学部附属病院 脳神経内科 澤本伸克(人間健康科学科)

問い合わせ等の窓口

本研究課題の相談窓口： 京都大学医学部附属病院 脳神経内科 澤本伸克(人間健康科学科)
(tel) 075-751-3111

京都大学の相談窓口： 京都大学医学部附属病院 臨床研究相談窓口
(Tel) 075-751-4748
(E-mail) ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp

研究実施期間

2016 年 2 月 5 日から 2027 年 2 月 4 日まで

本研究は、京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院 医の倫理委員会の審査を受け、京都大学医学部附属病院長の許可を得て実施するものです。

本研究は、運営費交付金により実施します。特定の企業からの資金提供は受けていません。利益相反については、京都大学利益相反ポリシー、京都大学利益相反マネジメント規程に従い、京都大学臨床研究利益相反審査委員会において適切に審査しています。